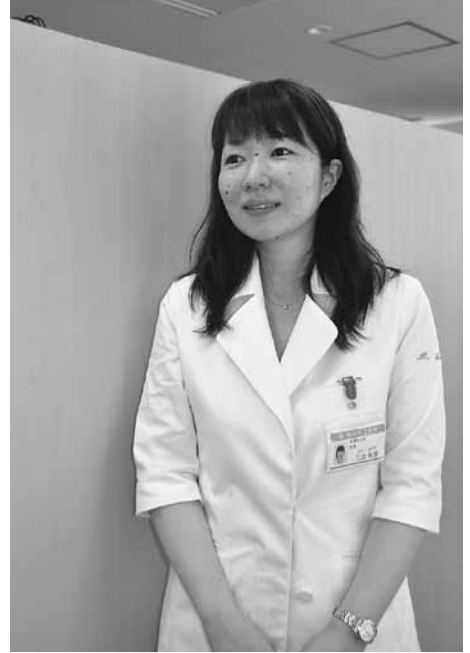


血糖値管理に新たな基準が設けられました

内科 医師 ^{みよし}三次 ^{ありな}有奈



糖尿病は慢性の高血糖状態を主な症状とする病気で、糖を細胞内に取り込み、エネルギーに利用したり貯蔵を促進するインスリンというホルモンの作用不足が原因で起こります。多くは2型糖尿病であり、体質のほか、過食、運動不足、肥満、ストレスなどの環境因子および加齢が加わり発症します。重度の高血糖にならないければ自覚症状は乏しいですが、管理が不十分だと、じわじわと全身の動脈硬化症を起し、神経眼・腎臓・心臓・脳・骨などの臓器障害を起す怖い病気です。また、感染症が重症化しやすかったり、肝臓や脾臓がんのリスクが高くなることも明らかとなっています。自覚症状に乏しいため、糖尿病のコントロール状況はヘモグロビンA1c(以下

HbA1c)という値で判断します。HbA1cは、赤血球の中で体内に酸素を運ぶ役目のヘモグロビン(以下Hb)と、血液中のブドウ糖が結合したものです。糖化Hbともいい、血糖値が高いほどこれが形成されやすくなりますので、糖尿病の患者さんでは顕著な増加がみられます。血糖値は常に変化していますが、HbA1cは濃度が安定しています。HbA1cの寿命は約4か月であるため、HbA1cの値を調べれば、過去1〜2か月の血糖の平均的な状態を知ることができ

ます。高齢の糖尿病患者さんに対し、今年5月からHbA1cの目標下限値が設けられました。この背景には、超高齢社会を迎え、高齢者糖尿病が増加の一途をたどっていることがあげられます。5年に一度行われる「国民健康・栄養調査」(厚労省、前回平成24年)では糖尿病患者数は約950万人で、その半数が65歳以上の高齢者でした。高齢者は心身機能の個人差が著しく、また重症低血糖を来しやすく、また重症低血糖を来しやすさがあります。重症低血糖は、認知機能に障害を来すとともに、心血管の病気の発症リスクともなり得ます。今回、目標下限値が設定されたことで、認知機能やADL区分に応じてより安全な治療を行うことが可能となりました。

▼高齢者糖尿病の血糖コントロール目標(HbA1c値)

	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ	カテゴリーⅢ
患者の特徴・健康状態 <small>注</small>	①認知機能正常 ②ADL(日常生活動作)自立	①軽度認知障害～軽度認知症 ②手段的ADL低下、基本的ADL自立	①中等度以上の認知症 ②基本的ADL低下 ③多くの併存疾患や機能障害
重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤、SU薬、グリニド薬など)の使用	なし <small>注</small>	あり <small>注</small>	あり <small>注</small>
	7.0%未満 65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	7.0%未満 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 8.5%未満 (下限7.5%)

注) に関しては、日本糖尿病学会のホームページ(<http://www.jds.or.jp/>)をご覧ください。

方、また低血糖を多く自覚する方などは、将来の予後(寿命や合併症発生)に大きく関わってきますので専門医の受診をおすすめします。当院は私を含め4人の糖尿病専門医がおりますので気軽に相談ください。

● 9月の救急医療機関 ●

平日

電話で時間外診療の協力医療機関をお知らせします。
時間外夜間急病テレホンセンター
Tel22-2299

休日

【内科・小児科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分
市立病院
Tel22-4311 (大町2-2)

【外科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分
4日(日) 滝川脳神経外科
11日(日) 市立病院
18日(日) 滝川脳神経外科
19日(月) 市立病院
22日(木) 市立病院
25日(日) 滝川脳神経外科
※市立病院
Tel22-4311 (大町2-2)
※滝川脳神経外科
Tel22-0250 (西町1-2)

【歯科】

診療時間 9時～12時
4日(日) 幡歯科医院
Tel52-3348 (砂川市東2南4)
11日(日) アダチ歯科
Tel65-2659 (奈井江町奈井江46)
18日(日) 新十津川パンダ歯科
Tel76-3202 (新十津川町中央309)
19日(月) 杉村歯科医院
Tel24-1354 (栄町1-7)
22日(木) 松原歯科医院
Tel52-6480 (砂川市吉野1南4)
25日(日) なかむらファミリー歯科
Tel26-2282 (滝の川町東3-1147)

※ADL区分＝食事や排泄の自立、口腔衛生生活を営むうえで必要な身の回りの動作がどの程度できるかを数値化したもの